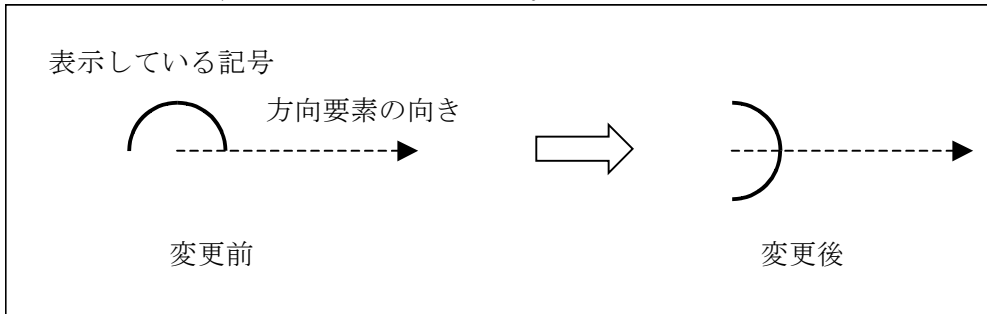


1. インストール説明書に JAI のインストールを追加しました。

バージョン 2.01 から TIN に TIFF などのオルソ画像を貼り付ける機能を追加しましたが、TIFF をリードするために JAI (Java Advanced Imaging) をインストールする必要があります。詳しくはインストール説明書を参照してください。

2. 坑口などの記号表示変更

坑口などの記号表示を拡張 DM 仕様に合わせて変更しました。



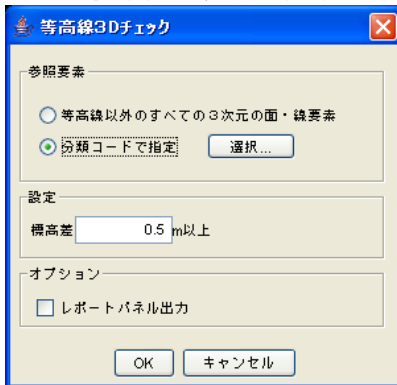
変更した方向要素

取得分類コード	名称
2219	道路のトンネル
2419	鉄道のトンネル
4219	坑口
5219	坑口 トンネル
7206	洞口

3. 等高線と他の要素の標高値ずれチェック

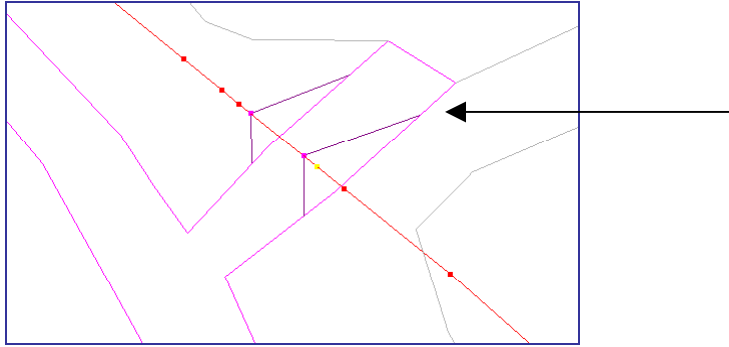
新メニュー[チェック]-[等高線 3D チェック]を追加しました。
 以下、操作説明書からの抜粋です。

等高線と等高線以外の 3次元面・線要素について、交差している箇所での標高値のずれを検出します。メニュー[チェック]-[3D チェック]と異なり、等高線と他の要素との組み合わせで標高値のずれに注目します。



【分類コードで指定】 等高線と交差する面・線要素を取得分類コードで指定します。

【標高差】 等高線と 3次元要素との交差点での標高差が指定された値以上のケースをリストアップします。
 リストアップした面・線要素で、近くに等高線と同じ高さとなる線分があれば、そこへの線を 3D 表示します。



この図では、選択状態で赤く表示されているのが等高線です。
等高線上で交差を示す点から真幅道路に水平な線を表示しています。

この線を[ファイル]-[チェックリスト保存]-[チェックリスト保存(DXF)]メニューで、ポリラインとして出力でき、等高線編集の参照とすることができます。

3. チェックリスト DXF 保存にポリラインを追加

この線を[ファイル]-[チェックリスト保存]-[チェックリスト保存(DXF)]メニューで、ポリラインも出力するオプションを追加しました。

以下、操作説明書からの抜粋です。

チェックメニューでリストアップした問題点のテキストや座標(点)をファイル出力します。「チェックリスト保存(テキスト)」では、「チェックリスト」パネルに表示しているテキストを全てテキストファイルに保存します。その下の3メニューは[チェックリスト]パネルにリストアップされている項目の座標を保存します。DXF ファイルのポイントエンティティあるいは円エンティティ、NIF2 フォーマットのシンボルおよび JSP・SIMA-DM フォーマットの・要素として保存します。

DXF ではレイヤー”0”で出力します。[ポリラインも保存する]は、チェックリストパネルに対応する3D表示で位置を示す点と関連する線が表示されている場合、使用できます。この線をポリラインエンティティとして保存します。

NIF2 ではダイアログで指定されたレイヤーとラインタイプで出力します。

JSP・SIMA-DM では、ダイアログで指定された分類コードで出力します。左下と右上座標は、問題点を囲む矩形を出力します。

